（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業について

説明会実施結果
道路局建設課

説明会状況

令和元年5月26日(日)、5月28日(火)に本事業における事業説明会を開催しました。説明会は、旭公会堂で実施し、両日合わせて188名の方にご参加いただき、連続立体交差事業(鶴ヶ峰駅付近)について、様々なご意見をいただきました。

説明会周知方法

旭区全域(7560部)に回覧を行うとともに、職員により沿線片側50mにポスティング(約3000件)、横浜市道路局HPにも、掲載をしています。

また、旭区連合自治会町内会連絡協議会をスタートに、沿線の連合等には定例会にて、個別に説明会周知を行っています。

主な説明内容(スライド資料はHP掲載済み)

1 手続きの流れ
- 都市計画及び環境影響評価手続き

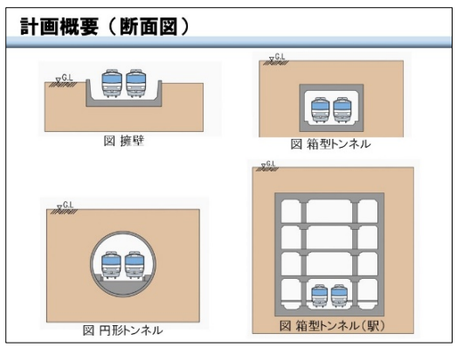
2 踏切安全対策
- 踏切安全対策について

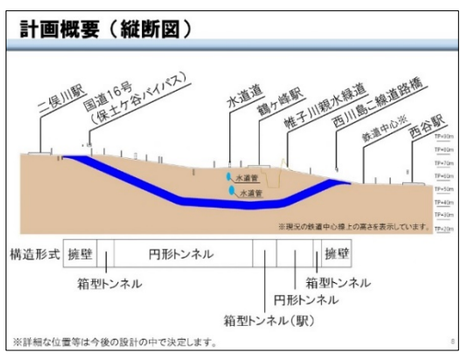
3 鶴ヶ峰駅付近の検討の経緯
- 旭区の現状
- 鶴ヶ峰駅周辺の状況及び課題

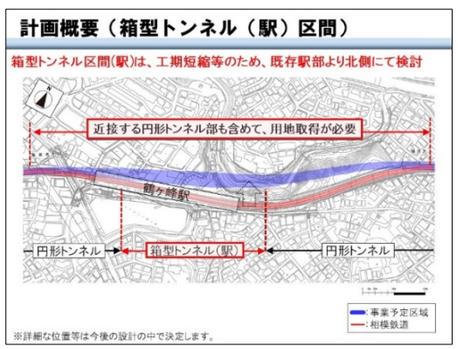
4 計画概要
- 各種構造形式の紹介
- 事業予定区域の説明

5 関連事業
- 鶴ヶ峰駅周辺のまちづくりの状況

※ スライド資料(約60ページ)にて説明







事業説明会の様子

説明会実施状況

説明会終了後には、個別相談も実施

事業説明会の主な質問と回答の要旨

Q１：早期に供用開始できるよう進めてほしい。
A１：２０３３年度を完成目標に進めていきます。早期完成を目指し調整してまいります。

Q２：まちづくりの状況はどうなっているのか？
A２：平成31年3月にまちづくり構想が策定されています。連続立体交差事業とまちづくりが、一体的に進められるよう、連携を図っていきます。

Q３： 駅の仕様や位置などはどうなるのか？
A３：現時点は確定しておりませんが、計画の熟度があがる節目に、適時、情報提供してまいります。

Q４：事業費はどれくらいか？どのような負担割合か？
A４：地下方式で約７４０億円となります。自治体と相模鉄道で負担します。今後、相模鉄道と協議し、負担割合を決定していきます。自治体の負担は、国の補助金を活用する予定です（市：４５％・国：５５％）。

Q５：帷子川親水緑道の下に構造物が入るようだが、工事方法は？
A５：一部工事にて影響の出てくる場所がありますが、現況復旧をしていきます。工事方法等については、今後の詳細な検討の中で決めていきます。

Q６：上部利用の予定は？
A６：相模鉄道の用地になります。現時点は確定しておりませんが、本市としても、地域の課題解決になるよう調整を行っていきたいと考えています。